

講義コード	11C0128823	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	蓮見 雄	開講期	通年
科目名	ゼミナールⅡ (蓮見)					蓮見 雄		通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>ギリシャ問題、ウクライナ問題、対ロシア経済制裁と油価下落によるロシア経済の後退、イギリスのEU離脱、ナショナルリズムの高まりなどヨーロッパ経済は困難に直面しており、世界経済の不安定要因の一つとされています。緊縮政策に対する反対も噴出してきています。しかし、問題は、EU経済が成長する展望を示せるかです。この中核をなすのが「ヨーロッパ2020戦略」です。これは、(1) 知的な (smart) 経済成長、(2) 持続可能な (sustainable) 成長、(3) 包摂的な (inclusive) な成長という3つの課題を同時達成しようとするものです。</p> <p>このゼミでは、EU経済の基礎について学んだ後、9月22日、23日、24日に、八王子セミナーハウスで開催される第6回EUセミナーに参加します。そこでは、EU研究者や駐日欧州連合代表部の責任者の講演などが予定されており、また全国各地から集まったEUを学ぶ学生とともに一緒に学び、討論し、報告します。これは、担当教員にとっても、ゼミ生にとっても大きな試練です。他大学の学生と1対1で討論しても負けないように準備するためには、厳しい授業となりますが、与えられた課題をしっかりとこなしていけば、実力と自信がつくはずで、さらに、その成果を基礎に、学内ゼミナール大会に臨みます。</p>								
到達目標	<p>本ゼミナールの到達目標は、以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) EU経済の基礎知識を身につける。 2) 論文作成を実際に経験し、情報収集、分析の能力を身につける。 3) 他大学の学生と共に、プレゼンテーションや討論を経験し、情報伝達の能力を身につける。 4) わからないことがあった時に、まず調べてみるという習慣を身につける。 								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>春休みレポートがあり、そのテキストを中心にまずEU経済の基礎を学びます。それから、EUセミナー準備のための夏休みレポートがあります。提出しない者は、ゼミの参加資格を失います。</p> <p>毎回、課題をだし、次の回で各自、その報告を行います。したがって、予習が必要です。授業外学修時間は、最低でも120時間必要です。</p>								
授業計画	<p>【授業外学修】</p> <p>少人数で輪読と討論を中心に進めるので、毎回、予習した上で出席することが原則です。特に、EUセミナーやゼミナール大会のための論文作成やプレゼンテーションでは、各自の責任を果たすことが大切です。</p> <p>【第1回】 EUセミナー及びゼミナールの年間計画等に関する概要説明 【第2回】 EUを支える制度の基礎 【第3回】 EU各国の経済情勢：マクロ経済動向 【第4回】 EU各国の経済情勢：労働市場の動向 【第5回】 EU各国の経済情勢：貿易・直接投資の動向 【第6回】 市場統合とヨーロッパ金融市場の再編 【第7回】 ユーロ危機の展開：中東欧の金融危機 【第8回】 ユーロ危機の展開：ソルベンシー危機へ 【第9回】 ユーロ危機の展開：ソブリン危機へ 【第10回】 ユーロを支える制度の限界 【第11回】 ユーロを支える制度の強化の試み 【第12回】 再びギリシャ危機 【第13回】 危機から成長戦略へ 【第14回】 ユーロッパ2020戦略 【第15回】 まとめ (EUセミナー準備のための夏期休暇中の学習予定を検討) (夏期休暇中、EUセミナー準備のために、特別授業を行います (これまでの例では3日間))。 【第16回】 EUセミナー直前対策 【第17回】 EUセミナーの反省と新たな資料の確認 【第18回】 ゼミナール論文の作成と討論1 【第19回】 ゼミナール論文の作成と討論2 【第20回】 ゼミナール論文の作成と討論3 【第21回】 ゼミナール論文の加筆・修正1 【第22回】 ゼミナール論文の加筆・修正2 【第23回】 ゼミナール論文の確認 【第24回】 ゼミナール大会プレゼンテーション準備 【第25回】 ゼミナール論文の最終調整 【第26回】 ゼミナール大会プレゼンテーションの予行演習 【第27回】 ゼミナール論文の成果と問題点 【第28回】 上記問題点の検証と追加学習 【第29回】 卒論テーマに関する相談 【第30回】 まとめ</p>								
成績評価の方法	EUセミナーへの参加 (50%)、ゼミナール論文作成への貢献 (25%)、ゼミナール大会への参加 (25%)								
フィードバックの内容									
教科書	『現代ヨーロッパ経済第4版』田中素香、長部重康、久保広正、岩田健治 (有斐閣) 2014								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	<p>EUセミナーに参加して、討論するには、かなり勉強をしていかねばなりません。EUセミナーについては、http://www.seminarhouse.or.jp/seminar_kaisaiichiran/eu_top.html を参照。</p> <p>以下の通り、しっかり準備しておいて下さい。テキストの259ページまで。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 最初の授業の時までに、春休みの課題図書 (テキストの259ページまで) を読んで、レポートを提出すること (A4で10枚程度) 2) 水曜4限がゼミナール1、水曜5限がゼミナール2の時間帯ですが、他の必修科目と重ならない限り、2時間連続で出席すること。 3) 9月までにEUの基礎知識を身につけなければならないので、3年生は水曜3限のEU経済A、水曜4限のEU経済Bを履修すること。 								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部にて定めるオフィスアワーにて受け付けます。また、WebClassのメッセージ機能でも受け付けます (利用方法はポータルサイト、ライブラリ内のマニュアルを参照)。								
その他									